

たいわ町議会だより

未来に響く 学生の声

関連記事

P.2～3

議会報告会を開催しました



大和町議会



議会報告会を

開催しました

令和8年2月21日(土)、大和町役場3階にて、令和7年度議会報告会を開催しました。

今年度は高校生・大学生を対象に、20名の参加のもと、議会の活動を報告し、多くのご意見をいただきました。



議会報告

議会報告では、人気漫画「葬送のフリーレン」を起用したリーフレットを活用し、議会とはどのような存在なのか。大和町議会が皆さんの生活にどう関わっているのかをお伝えさせていただきました。



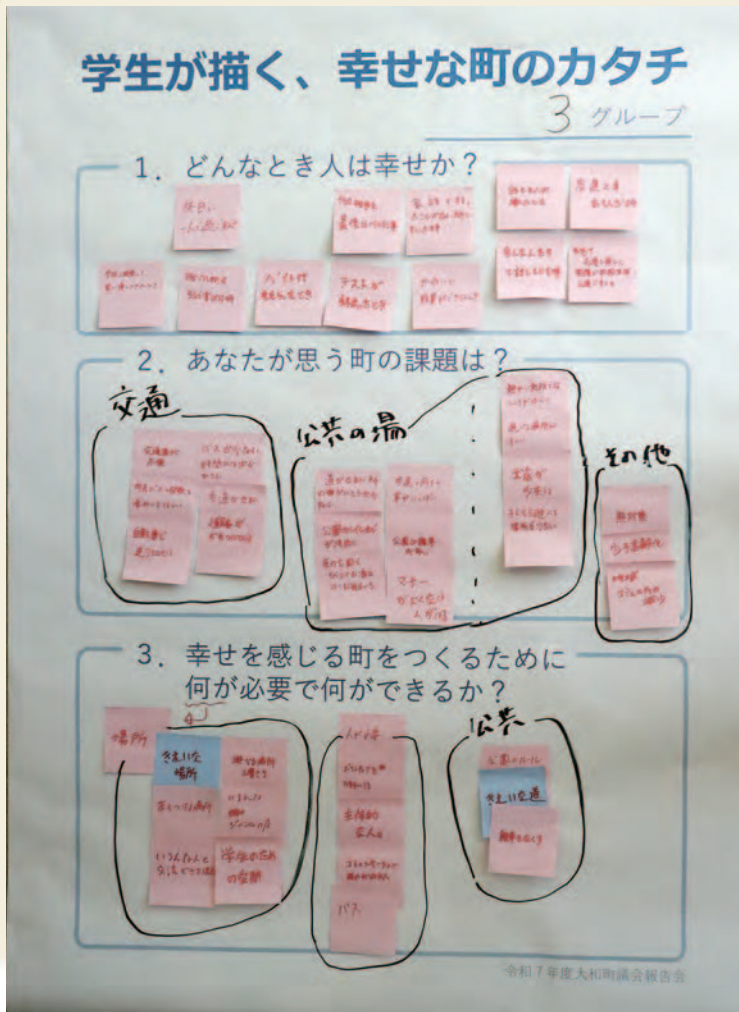
ワークショップ

高校生4名、大学生1名、議員1名ずつ、計4グループに分かれて行ったワークショップでは、「学生が描く、幸せな町のカタチ」をテーマにグループワークを実施しました。

各グループの発表の際には、「自分たちで考え、実行方法まで模索するこの形式こそが、地域に関心を持つきっかけになる」といった意見もあり、非常に有意義な時間となりました。

学生だからこそその視点

ワークショップでは、各々の意見を書いた付箋紙を模造紙に貼り付ける形でまとめを行いました。
 通学の際の公共交通機関の少なさや、無料学習スペースの不足など、学生だからこそ出る意見が多数あり、今後の議会運営において、大変参考となる内容でした。



議会活動

定例・随時

一般質問

予算特別委員会

議場見学

報告会の締めくくりでは、議場を見学していただき、写真撮影を行うなど、議場の雰囲気味わっていただきました。
 多くのご参加をいただきありがとうございました。
 今後もさらなる町民福祉の向上に努めてまいります。



3月 定例会議

令和8年度一般会計予算139億4千万円で可決

一部予算に附帯決議

令和8年度一般会計予算 (たいわ妊婦支援給付金)

附帯決議

妊娠・出産に対する給付金で、令和7年度まで行っていた町独自の上乘せ分の予算が、8年度では計上されなかったことに
対し、附帯決議が提出されました。

附帯決議の内容

妊婦や子育て世帯の実情を踏まえ、「たいわ妊婦支援給付金」のあり方について、公平性を担保しつつ、財政状況や国・県の制度も勘案して今後の支援策の再構築や代替施策の可能性も含め検討を行うこと。

※提出内容より一部抜粋

附帯決議とは

議会在条例や予算などの議案を可決する際に、その内容に対して意見や要望、留意事項を付して示すもの。

法的拘束力はないものの政治的・道義的に重みを持つ、いわば「賛成するが実施にあたっては配慮を求める」という議会の意思表示である。



妊娠・出産の負担軽減を

各種会計別当初予算

会計名	令和8年度予算額	令和7年度予算額	増減率	
一般会計	139億4,000万円	139億9,000万円	△0.4%	
特別会計	国民健康保険事業会計	25億1,350万円	23億9,039万円	5.2%
	介護保険事業会計	23億5,845万円	23億6,497万円	△0.3%
	宮床財産区会計	1,211万円	1,299万円	△6.8%
	吉田財産区会計	149万円	604万円	△75.3%
	落合財産区会計	542万円	510万円	6.3%
	奨学事業会計	695万円	760万円	△8.6%
	後期高齢者医療会計	3億5,451万円	3億551万円	16.0%
	吉岡西部土地区画整理事業会計	10億9,216万円	16億4,453万円	△33.6%
	特別会計合計	63億4,459万円	67億3,713万円	△5.8%
	企業会計	上水道事業会計	13億6,796万円	14億1,336万円
水道事業会計		16億1,156万円	16億3,467万円	△1.4%
企業会計合計		29億7,952万円	30億4,803万円	△2.2%
総合計	232億6,411万円	237億7,516万円	△2.1%	

大和町第五次総合計画 基本構想及び基本計画の変更について



町政運営の指針として定めている「大和町第五次総合計画」について、令和7～8年度に改訂を行う予定としていましたが、昨今の社会情勢に対応するため、計画を前倒しにして改訂を行いたい旨の議案が提出されました。

質疑応答

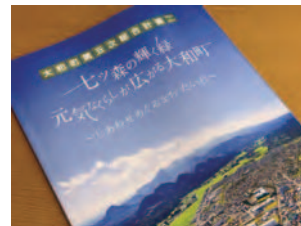
議員 総合計画の変更にあたり、目標値の町民満足度の数字が変化している部分としていない部分がある。
課長 町民満足度が6年たって変化しないのは目標にならないのではないか。
議員 総合計画の変更にあたり、目標値の町民満足度の数字が変化している部分としていない部分がある。
課長 今回示しているのが平均値であり、今の目標を最低限クリアしなければならぬという数値である。現状の数値を維持することも困難である。

議員 町民満足度の目標値が平均(5割以下)で良いのか。目標を高く据えることが職員の方々の仕事の質の向上につながると思うが、今から目標値の変更はできないのか。
課長 今回は指標を設定することの意義を大きく捉えた。数字については総合計画審議会にも諮って本日お示ししている。

評価指標

名称	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
「商業」の町民満足度(得点)	点	4.65/10	4.86/10
年間商品販売額	万円	7,010,303	9,919,000
創業支援セミナー受講者数	人	3	5

改訂後の内容より



元気な暮らしが広がる大和町へ



令和8年3月撮影

仙塩広域都市計画事業「大和町吉岡西部土地画整理事業」の円滑な執行を図るため、基金が設置されました。

大和町吉岡西部土地画整理事業基金条例



3月
随時会議

事業基金の設置

関連記事

P.19

一目でわかる審議結果

一般質問

議員12人が町長と教育長に質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方を元に、町長と教育長に方針を問うものです。

1人60分の制限時間。議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本会議場での傍聴をお待ちしています。

●一般質問はYouTubeで配信しています。



YouTubeの配信
動画はこちらから。

議会活動

定例・随時

一般質問

予算特別委員会

町長 指定管理者の選定は原則として公募により行い、条例で定める基準に照らし合わせ

議員 町では業務委託を行い、効率化を図っている。専門分野においては、指定管理者制度を導入している。指定管理の対象業務の選考基準と、選定方法はどのようなになっているのか。また、一つの施設で複数の業務委託が行われている場合、定めはあるのか。さらに指定管理や業務委託で複数年契約を行っている場合、昨今の変化に対して、どのような対処や契約の見直しを行っているのか。

町長 安定運営を支援している 指定管理制度と業務委託について



質問者の動画が視聴できます

ノウハウを生かして
業務効率化を！



で総合的な審査を実施している。ただし、地域の活力を積極的に活用し、高い事業効果が期待できる場合などは例外的に公募によらない選定も可能。いずれの場合も町議会の議決をもって選定している。規模の大きい施設では総合的管理業務として一括発注し受託者が統括するが、小規模施設では個別に発注し担当課の職員が直接統括している。物価高騰や人件費上昇などに対しては、年度末に指定管理者と見直しを図っている。



その他の質問

・若年者の資格取得支援を



質問者の動画が視聴できます

安心して暮らせるまちへ！



鳥獣被害対策計画の具体化を

町長 実行性のある鳥獣被害防止対策を検討していく

議員 全国的なクマの脅威に対し、緊急対応の域を出なかつたと考

える。外出を控えるムードが広がり、本町の地域経済への損失も決して小さくなかつたが、この経験を令和8年度の具体的な計画にしっかりと反映させるべきでは。

「状況別の対応マニュアル」の現在の整備状況は。

また、安全確保と地域経済を両立させる方策は何か。

特定の人に負担を集中させない、地域一丸となった無理のない見守り態勢の構築を。

町長 マニュアルとして一つにまとめたものはないが、これまでの経験を踏まえてより実

践的な現場対応マニュアルを整備していく方針である。

情報発信は、防災無線やSNSで目撃情報を速やかに周知し、クマの生態や被害防止策を広報誌やホームページで積極的に発信することで、住民の過度な不安を取り除き、外出機会や来訪者の減少に歯止めをかけた。

見守り態勢については、クマへの対応は常に危険を伴うため、地域の実情にあったパトロールの実施など、実効性のある対策を検討していく。



その他の質問

・『幸せを実感できるまち』の実現に向けた逆境下でのまちづくりを



質問者の動画が視聴できます

相互の理解で

優しいまちづくり



「ユマニチュード」による尊厳を守るケアの推進

町長 優しいまちづくりを推進していく

議員 高齢化の進展に伴い認知症高齢者への支援がますます重要となつている。

フランス発祥のケア技法であるユマニチュードは、尊厳を重視する実践的な手法として国内でも導入が進んでいる。本町の認知症高齢者の現状と、ケアに関する町の課題とユマニチュードに対する町の認識は。

さらに尊厳を守るケアの推進のため、介護職員向け研修や認知症サポーター養成講座などで、町民向けの講座を開催しては。

現在の取組状況と今後の方向性について、具体的な見解を伺う。

町長 ユマニチュードは、症状緩和や介護負

担軽減に一定の効果があると伺っており、単に優しく接するだけでなく尊厳を守るケアを意識して事業に取り組んでいく。

現在ユマニチュードという言葉は使用していないが、サポーター養成時には分かりやすい言葉を用いて接し方を説明している。

小学生や大学生への講座も展開しており、研修会や認知症カフェを通じて世代間の相互理解を深め、認知症になつても安心して住み続けられる優しいまちづくりを推進していく。



その他の質問

・授乳室での「搾乳利用可」の掲示を
・AEDに色付き三角巾を配備しては



質問者の動画が視聴できます

慌てず、備えて、安全に！



災害時に慌てないまちづくり

町長 継続的な取り組みを進める

議員 近年の異常気象

などにより災害時の避難に不安を抱える方も多く、平時の備えが不可欠であると考える。

各地域の公園や広場などの指定避難場所での実践的な避難訓練は必要ではないか。

また、指定避難所となつている教育ふれあいセンターや小中学校は地域住民との連携が十分にとれているか。

災害時の避難所運営には若い世代の協力が不可欠だが、積極的に参画してもらうためにはマニュアルの整備や事前の訓練が必要ではないか。

災害時に慌てないまちづくりに向け、町は現在どのような取り組みを行っているのか伺う。

町長 年1回の地域防災訓練を各地区の輪番制で実施している。

各自主防災組織において、安否確認や初期消火訓練などを実施しており、公園などを活用した実践的な避難訓練のメニューを町から提案していく。

各地区の防災訓練で避難所運営訓練を行い、連携を図るほか、学校では防災主任会で定期的な研修を行っている。

若い世代の防災への参画は不可欠であり、避難所運営マニュアルの周知に加え、訓練内容を検討していく。



その他の質問

・小さな賑わいから大きな賑わいへ



質問者の動画が視聴できます

住民同士の

支えあいを大切に



多世代が支え合う有償ボランティア制度導入を

町長 引き続き研鑽を積んでいく

議員 少子高齢化が進み、地域における住民

同士の支え合いの重要性が高まっている。核家族世帯や高齢者の単身世帯が増加し、孤立や生活不安がある中、行政に頼る画一的な支援には限界がある。

そこで、地域住民が気軽に参加し、活動の対価として一定の報酬を受け取れる『有償ボランティア制度』を町として導入してはどうか。

有償ボランティア制度は、新たな担い手の確保や活動の継続性向上に繋がり、子育て世代や元気な高齢者が地域で活躍できる仕組みとして地域福祉の底上げに大きく資するものと考ええる。

一方で、導入にあたっては報酬の設定基準や継続的な財源確保、また既存の無償ボランティア活動との整合性など、検討すべき課題は多岐にわたる。

今後のボランティアの在り方として引き続き研鑽を積んでいく。

町長 現在、「となりぐみ活き生きサロン事業」や認知症サポーターをはじめとする様々なボランティア活動が活発に展開されているが、一方で成り手不足と担い手の高齢化が大きな課題となっている。



その他の質問

・放課後児童クラブの充実と高学年の居場所確保について
・少子化対策における長期的ビジョンについて



質問者の動画が視聴できます

大和町を

より魅力的なまちに！



第五次総合計画の観光について

町長 地域経済の活性化と持続可能な発展を目指していく

議員 本町には映画館や遊技場などの娯楽施設がない。しかし、観光やレジャーを楽しむための施設がある。

第五次総合計画による町の特色を活かしたまちづくりについて問う。

七ツ森湖周辺の再整備における具体的な内容は。

また、道の駅や娯楽施設の設備検討の具体的な内容は。

町長 第五次総合計画では、本町の魅力ある地域資源を最大限に活用した観光振興を重要な柱の一つと位置付けている。

具体的には、オートキャンプ場の整備や大型遊具の設置、また令和8年度には「七ツ森

湖周辺再整備構想」や七ツ森ふれあい公園などの再整備構想の検討を進める。

道の駅や娯楽施設に対する町民の関心は高く、特に道の駅の整備に関しては、地域連携機能として、他の自治体成功事例を参考に検討を進めていく。一方娯楽施設などについては、財政面や運営面から困難であると考ええる。既存施設を活用したイベントなどを企画・支援をしていく。



その他の質問

・鳥獣(猪)の対策への予算配分について



質問者の動画が視聴できます

いろいろな世代が

交流できる場所を！



にぎわいのある まちづくりについて

町長 実現に向けて幅広く検討を進める

議員 少子高齢化や人口減少が急速に進む中、地域経済を根底から活性化させ、持続可能なまちづくりを行うには、多様な世代が集い、交流できる拠点の整備が不可欠である。

中心市街地の空き店舗の増加、既存の商店街の活性化や新規出店者の支援について、町の具体策は。

また、各種イベントの継続的な開催支援や、若者・子育て世代が気軽に立ち寄れる空間づくり、官民連携による新たなにぎわい拠点を構築する考えは。

町長 にぎわいのあるまちづくりは、定住促進や地域経済の活性化において重要である。空き店舗対策は店舗

の改修費補助や家賃補助制度を実施している。新規創業者の積極的な誘致に努めている。

イベント開催は、今後は民間主体で企画される小さなにぎわい創出事業に対しても、補助金などの制度活用を促していく。

若者や子育て世代が日常的に集える空間づくりについては、既存の公共施設の有効活用、民間活力を導入した交流拠点の整備について、実現に向けて幅広く検討を進める。



一〇メモ

「官民連携」

行政と民間企業が協力して、地域の課題解決やサービス向上に取り組むこと。





質問者の動画が視聴できます

大和町で安心して
働き続けられる環境整備を



黒川高校を核とした地域連携と若者定着策について 町長 実践的で深い連携を構築していく

議員 地元の高校生が在学中から地域社会と深く関わる機会を増やす取り組みは、郷土への愛着や誇りを育み、将来的就職や定住につながる有効な手立てである。

現在、黒川高校と具体的にどのような連携事業を行っているか。
また、卒業後の進学や就職において、町内企業とのマッチング支援や、将来にわたって暮らし続けたいと思える実効性のある定着促進策をどう考えるか。
また産業振興や居住支援の観点も含め、町の総合的な見解と今後のビジョンは。

町長 黒川高校は本町にとって貴重な教育財産である。

現在、地域でのボランティアの推進や、地元企業へのインターンなど、学校と地域の連携を図っている。今後は、総合的な探究の時間で町の課題解決を共に考え、実践的で深い連携を構築する。

若者の地元定着策については、地元企業の就職情報の発信をさらに強化していく。
また、従来の支援制度を活用し、若者が本町を将来の居住地として選び、安心して働き続けられる労働環境と生活環境の整備を力強く推進していく。



その他の質問

- ・認知症の方の見守り支援について
- ・人口減少時代の町政運営について



質問者の動画が視聴できます

安全・安心な給食提供を



給食センター2回転運用や広域化を検討しては 町長 現在の給食提供を維持・継承していく

議員 本町の給食センターは、町内小中学校の給食を1回転で提供している。他の自治体では、保育所などの給食や、高齢者向け配食サービスも提供し、また、複数の自治体で運営する例もある。

同センターは、設置から約29年が経過した。更新を視野に入れた時期だが、2回転運用や運営の広域化を検討しては。

町長 学校給食の2回転運用は、時間内での衛生基準を確保することが難しく、衛生リスクが高まる。
さらに、提供にあたっては食物アレルギー対応が最優先課題であり、保育所や高齢者向けメニューなどと混在

して調理する場合、誤配や混入のリスクがある。
また、広域化を図る場合、現在、環境整備を目的とした防衛省の補助金活用による給食センター整備の協議を進めているが、補助要件の適用外となる可能性や、補助対象範囲が限定されることも想定される。

児童生徒の食の安全を最優先に、本町の教育方針に沿った施設整備を行うため、町民負担を最小限に抑えつつ、当該補助金を確実に活用しながら、現在の安全・安心な給食提供を維持していく。



その他の質問

- ・DX推進計画の達成状況は



質問者の動画が視聴できます

今後も楽しい活動の継続を



部活動の地域展開(移行)について

教育長 令和10年以降の円滑な移行へ努める

議員 国では、少子化や教員の働き方改革を背景に、休日の部活動を中心とした地域展開を進めている。

指導者や場所の確保はできているか。

また、それに伴う町の財政負担、保護者の負担は。

確保と活動場所の調整を進め、令和10年度以降の円滑な地域展開へ繋げていきたい。

町財政負担については、指導者・活動場所の確保や運営事務など、必要経費が一定程度発生する。国・県の支援制度を活用し、必要に応じて予算措置を検討していく。

保護者にも、地域クラブの運営活動費などの負担が生じうる。過度の負担とならないよう、国・県の支援制度を踏まえ、負担のあり方について関係者と検討し、随時、情報提供にも努めていく。



その他の質問

- 一人暮らしの認知症高齢者への支援について
- 農業用水等で利用する河川の管理状況について



質問者の動画が視聴できます

より使いやすく、

より地域活性化を



町所有マイクロバス貸出の拡充について

町長 柔軟に要綱を見直し、事業を進めていく

議員 令和7年度より町所有マイクロバスの貸出事業が始まり、24行政区が利用した。更なるマイクロバス貸出事業への取り組みとして、貸出回数・貸出用途など拡充の考えは。

り、各区長を対象にアンケートなども実施した。

アンケートでは、「年間の複数回利用」(12件)、「WEBでの予約や空き状況の確認」(10件)、「県外利用」(5件)、「申請受付期間の拡大」(5件)、「利用状況の開示」(3件)など、本事業の更なる拡充を期待する要望が多数寄せられた。

今後は、これらの要望を一つひとつ検討し、柔軟に要綱の見直しを図り、地域活性化の一助となるよう事業を進めていきたい。



その他の質問

- 自転車用ヘルメットの普及について



こんの しんいち
今野 信一



質問者の動画が視聴できます

児童生徒の通学路の安全について

町長 ハード・ソフト両面から環境整備を

安心・安全な通学のため

更なる対策を！



議員 新小学一年生が

安心して通学できるための町の取り組みを伺う。通学路の危険箇所をどのように把握し、どういった対処を講じているか。

また、かつて「にぎわい創出事業」の候補地であった中町地区について、道路の危険性が指摘され計画が断念された経緯がある。児童の命を守るために具体的な安全策を講じてきたか、現状の取り組みと今後の整備方針について伺う。

定期点検、保護者からの情報提供をもとに行っている。対処としては、関係機関への迅速な連絡に加え、転落防止柵の設置や横断歩道のカラー舗装、注意喚起看板の設置などを道路管理者や警察と協議し実施している。

また、中町地区については令和2年度と5年度にグリーンベルトを施工した。さらに今年度はワークシヨップ「縁道」を開催し、整備案などを考慮し、児童の通行の安全を最優先に対応していく。



その他の質問

令和8年度予算と第五次総合計画について



あきひこ ほんだ
昭彦 本田



質問者の動画が視聴できます

園芸作物の振興を

町長 担い手の育成に継続して努めていく

作物も担い手も

育成が大切



議員 園芸作物の推進は収益性の向上から重要と考える。

しかし、稲作を中心とする農家からは、栽培の手間や面積の拡大の難しさなどから敬遠されがちである。園芸農家の現状と課題をどのように捉えているか。

また、新規就農者や農業法人の積極的な参入、産直野菜の拡大など、支援や担い手育成にどのように取り組んでいくか考えを伺う。

つつも、多くの手間がかかることや販売先の確保などが挙げられ、稲作農家からは敬遠されている状況にあると認識している。

一方で、新規就農者によるねぎやなすなどの栽培や、農業法人による大規模な栽培などの明るい動きも確実に出てきている。

園芸振興に向けた支援としては、労力軽減に向けた機械導入支援などを行っており、今後とも各種の支援制度を効果的に活用しながら、多様な園芸農業の担い手の育成に継続して努めていく。



一口メモ

「園芸作物」

果樹・野菜・花きなどの農作物の総称

この予算は？ 目的は？

各課の予算を細かく審査するため、予算特別委員会を設置し、4日間予算の審査を行いました。
※掲載している内容は、特別委員会開催時点のものです。そのため、本文中の「今年度」は令和7年度、「次年度」は令和8年度を指します。



主要な事業は、現地も確認



審査進行を務める今野信一委員長

図書

議員 まほろばホールの図書購入費はどの程度確保しているのか。

課長 また、IT化や物価高騰により、紙の本に触れる機会が減っている。図書室の重要性は非常に高いと考えるが、図書環境を充実させていく意気込みは。

館長 図書購入費として毎年百万円程度確保している。

子どもたちはもちろん、一般の方々にも本を親しむ機会を持っていたいただきたいと考える。今後もサービス充実に努める。
(公民館)

給食センター

議員 給食センター費の金額が大きく増えている。増加の主な理由は。

課長 また、食物アレルギーで個別に対応を行っている子どもは何名ほどいるのか。

所長 材料費の高騰が主な理由である。個別での対応を行っているのは20名である。(教育総務課)

スポットクーラー

議員 今年度、交付金を使用してスポットクーラーを各校に導入していたが、小規模校は1基ずつの導入であった。次年度予算に購入の予算がついていないが、1基のみで十分という考えなのか。

課長 小規模校でも2基程度必要と考える。本来であれば今年度納品された1基の状態を確認した上で、2基目の導入を検討する予定だったが、納品が10月となつてしまい、確認ができなかった。次年度本格稼働してから状況を見て検討していきたい。(教育総務課)



吉岡小学校のスポットクーラー

一般廃棄物

議員 一般廃棄物処理の委託で、令和5年度より金額が大きく上がっているが、増加の要因は。

課長 また、廃棄物処理について、課として行っている取り組みはあるか。

課長 令和5年度から5か年契約の更新時期であったため、設計の際、人件費などを加味した結果である。

今年度から民間業者と提携し、不用品のマッチングサービスを実施している。
(町民生活課)

空き家対策

議員 今年度2つの空き家対策関係の連携業者と協定を結んだが、相談窓口については町民生活課のままでよいのか。

課長 町民生活課でご相談いただいた後、連携業者へつなぐ形になる。(町民生活課)

シルバー人材センター

議員 シルバー人材センターの会員数は増えているのか。

課長 例年、会員数は伸びていたが、1月末現在で9名減少しており、ここにかけて減少傾向に転じている。
(福祉課)

病後児保育

議員 病後児保育事業に1,100万円ほど計上している。どれほどの利用人数なのか。

課長 今年度2月現在でのべ26名、前年度はのべ50名を超えていた。保護者の就業機会確保として、一定の役割を担っていると考える。
(子ども家庭課)



大和町病後児保育室

議会活動

定例・随時

一般質問

予算特別委員会

高齢者外出支援事業

議員 令和8年度の新規の見込み、トータル申請者数の予測は。また、タクシー券の申請方法や使い方が分からないという声も聞く。今後についてどう考えるか。



使いたい人が使えることが大切

課長 昨年度実績で見ると200人以上の新規利用者がいる。トータルの予測としては約1,700人程度を見込んでいる。事業の周知はもちろん、具体的な使い方、PRなども並行して行っていく。(福祉課)

上下水道普及啓発

議員 普及啓発で様々な事業を行っていると思うが、今年度の成果はどうだったのか。また、新たに作成したキャラクターしずく丸の成果は。

課長 上下水道フェアや子ども園への出前講座。小学生対象の水循環ツアーなどを行った。親御さんからも好評で、次年度についても行っていく予定である。

今年度は普及啓発のみでなく、イベントへの参加なども行い、知名度向上の活動を行った。今後もPR活動に積極的に関わらせていく。(上下水道課)

幼児検診

議員 幼児検診の年間実施回数が増えたとの報告があった。より詳しく説明願う。

課長 5か月、1歳半、2歳半、3歳をそれぞれ月1回、年間12回実施していたが、出生数の減少、5歳児検診の実施を見据え、回数を見直しを行い年8回とする。

5歳児検診については、先進自治体への視察を行い、令和9年度の実施に向けて準備を進めたい。(健康推進課)

給水車

議員 給水車の使用頻度は。車本体以外にもタンクなどの確認は行っているのか。

課長 施設確認の際に使用するなど、定期的に稼働させている。タンクについても、啓発事業の際に使用するなど、日々活用し、確認している。(上下水道課)

割増商品券

議員 近年の成果指数をどのように判断しているか。

課長 当初町内の店舗で多く利用してもらったことを目標に設定し、確実に増えてきている。どこの店舗で使用されているかは把握しているが、数値化しての分析までは行っていない。(商工観光課)

まほろば夏まつり

議員 今年度会場を変更して実施したが、反省点は。準備・片付けともに町職員の負担が大きいように感じる。町民への協力を仰ぐなどの考えは。

課長 シヤトルバスの混雑について多くの意見を頂戴した。携帯電話の電波もキャリアによっては届かない問題もあった。次回以降、改善を図っていく。職員の負担が大きいのは事実。負担軽減を図っていく。(商工観光課)



今後も楽しいおまつりを

観光振興

議員 南川ダムのレンタサイクルの冬季休業を早めるなど、昨年の熊の影響は観光振興にも影響があると考えられる。今後の方向性をどのように考えているか。

課長 既存施設の大規模修繕と、現在行っている七ツ森湖周辺への遊具設置は随時行う考えである。他課のイベントとも絡めつつ、観光PRを行っている。(商工観光課)

吉岡西部土地区画整備

議員 用地の販売はいつ頃を予定しているのか。

また、サービス業務用地についての問い合わせはあるのか。
課長 申し込みをいただいた企業の意向を伺いつつ、工事を進めている。販売の詳細は内容が決まり次第となる。
サービス系は2社からご意向いただいている。(都市建設課)

道路維持

議員 国の交付金でドライブレコーダーを活用した道路維持管理システムなどのメニューがあるが、活用を検討したか。

課長 令和元年度、令和6年度に車載カメラでの路面状況調査は行っている。調査内容を踏まえ、今後の路面修繕の方向性を考えていく。(都市建設課)

有害鳥獣

議員 イノシシの駆除が本格的になり始めて10年ほど経つ。隊員になっても活動していない人もいないか。

もしかしたら。そろそろ精査が必要なのではないか。
課長 活動が少ない方もいる。実施隊長と意見交換しつつ、少しでも活動してもらえよう進めたい。(農林振興課)



重要な駆除活動

通学応援事業

議員 現状の事業の対象は高校生のみとなっているが、今後私立の中学校に通う子どもたちも対象とする予定はあるか。

課長 複数の課が実施する様々な施策がある中、どういった部分を重点的に進めていくか考えていく必要がある。(まちづくり政策課)

南川ダム千本桜

議員 ダム周辺の桜を数えたところ、470本あった。単年度では難しいと思うが、捕植を行い、早めに千本に近づけていくべきでは。

課長 捕植はこれまで行っていないと思われる。複数年に分け、見栄えが良くなるよう、捕植を進めていきたいと考える。

(農林振興課)



美しい景観をこれから

マンホールトイレ

議員 国道4号線よりも東部には無い状態である。東部にも設置が必要では。

東部 には企業も多い。協力を仰ぎ、企業の敷地内に設置するというのも方法としてあるのでは。

課長 質問のとおり、現状東部の設置はない状態である。避難所のトイレの在り方として、今年度購入したトイレカーの活用も含め、検討していきたい。

一部企業については、帰宅困難者受け入れについて災害協定を結んでいる。可能性のある企業に声かけできればと考える。(危機対策室)

町公式LINE

議員 登録者数を今後どれほど増やしたいと考えているのか。

課長 本日現在で2,136名の登録をいただいている。イベントなどの度に声かけを行っており、引き続き継続していきたい。年間で最低でも500名は

増やしていきたいと考えている。(総務課)

町民バスについて

議員 新たにハイエースを予備車両として購入することだが、何人乗りを予定している、納期はいつ頃になるのか。

また、現状の町民バスは降りる際にボタンを押して下車するが、予備車両についても同様になるのか。

課長 10人乗りを購入予定としている。大体半年程度での納品との情報である。

ボタンの設置などは行う予定はなく、運転手に声かけをして下車する想定で考えている。(まちづくり政策課)



町内公共交通の要

結婚支援事業

議員 婚活イベントについて、何組の成立を目指しているのか。

課長 今年度2回開催しており、それぞれ7組のカップルが成立した。

しかし、その後のアンケートを見ると、中々継続していない方々もいるような状況である。願わくば各回1組程度成婚に繋がればと考えている。(総務課)

七ツ森周辺再整備

議員 策定業務として予算を計上しているが、現状どのような形で進んでいるのか。

また、複数年継続の業務なのか。

課長 宮城大学の先生と共に、ダム周辺の活用できそうな施設を見て回り、再整備の構想をしていただく予定。

今年度が構想の前段階の現地調査のため、その後に基本設計となる。(まちづくり政策課)

防災無線

議員 町民から聞こえない、聞き取れないという声が多い。最近はお内容をメールやLINEでも確認できるが、今後どのように対処していくのか。

課長 機密性の高い住宅も増えており、そういった意見も頂戴する。メールやLINEの周知に努めるとともに、今後の防災無線の在り方を検討していく。(危機対策室)

防犯対策用品

議員 防犯対策用品購入費は非常に有効と考えるが、希望者が多い場合、すぐに予算が無くなるのではないか。

課長 今回初めて行う事業であり、執行状況を見つつ考えていく。(危機対策室)



防犯カメラなどが対象

地域おこし協力隊

議員 令和8年度地域おこし協力隊に何を期待しているのか。何か町としての目標があれば伺いたい。

係長 現任の隊員については、関係人口創出を目的に、町外から協力してもらえよう方を募集を考えている。

今の隊員が元プロ野球選手で、アスリート農業というところで注目されている。令和8年度も支援に注力し、今後の方向性を検討しているところである。(まちづくり政策課)



現隊員の石橋 良太氏

代表質疑

～事業・計画を町長に問う～

予算特別委員会で出された主な質疑を常任委員会ごとに町長に再質問

子ども家庭課、健康推進課に問う

社会文教常任委員会 代表 **さくら い まさる**
櫻井 勝

たいわ妊婦支援給付金
について

議員 令和5年度から本町では国の支援に上乘せするかたちで町独自の支援を行ってきたが、令和8年度予算案では財源の見直しのため、町独自の上乗せ分の支給を見送る案を示している。
独自給付の見直しは町長の方針に逆行していると受け止められかねないが、所見を伺う。

町長 「安心して子どもを産み育てる環境づくり」は、町の将来を左右する最重要課題の一つであり、「妊娠期からの切れ目のない支援」については、これからの推進していく。予算編成においては、個々の家庭が抱えるニーズや子育て応援に直接応える、安定した町独自の支援策を考へることとし、予算措置を見送った。施政方針と逆行するものではないと考えている。



議会活動

定例・随時

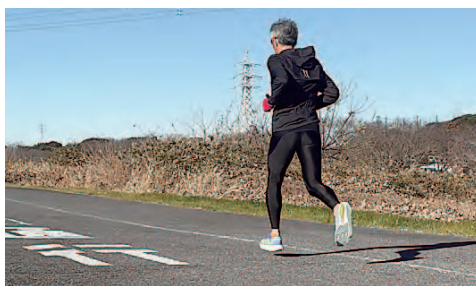
一般質問

予算特別委員会

健康ポイント事業について

議員 本町では、町民の健康増進を目的として「健康ポイント事業」を開始した。本事業は開始から2年目を迎えるが、制度の内容や参加方法について認知していない町民も多いのではないかと感じているが、どのように周知啓発をしていく考えか伺う。

町長 働き盛り世代の方々にいかにしてアプローチし、行動変容を促していくかが重要な鍵と捉えている。今後の周知啓発については、参加のハードルを下げ、事業の魅力を直接的にお伝えする工夫が不可欠であり、「参加登録会」の開催を予定している。特典の充実を図りながら、多くの方が楽しみを持って続けられるような仕掛けを講じ、活性化を図っていく。



都市建設課、農林振興課、上下水道課に問う

産業建設常任委員会 代表 **ほんだ 本 田** **あきひこ 昭彦**

町営住宅の維持管理は
議員 町営住宅は、町民に対して住まいを提供する重要な施設であるが、建設から年数が経過している。老朽化に伴う修繕費や維持管理費の増加が見込まれる。
 管理の効率化や費用面、空室対策の観点から、民間活用を含めた維持管理体制のあり方の考えを伺う。

町長 最も年数が経過しているものが47年となり、現在では、合計で26戸の空室となっている。

管理の効率化や維持管理費用の低減、空室の解消対策など重要な課題である。以前には民間企業に維持管理業務の可能性について聞き取りを行ったが、具体的な検討には至っていない。

今後の維持管理手法については、公的管理だけに捉われず、民間の活用などを含め検討していきたい。



修繕前



修繕後

農業環境整備事業補助金を活用した整備を
議員 農業経営の効率化や生産性の向上を図るため、農業環境整備事業補助金により農業者への支援を行っているが、この制度を活用しながら地域農業の維持・発展につなげていくことが必要と考えるが支援のあり方を伺う。

町長 本事業は、生産性の高い農業を確立するため実施している。今後は、昨今の資材費高騰などに伴い、事業費も高くなっていることから、予算額や補助率は現行のままとして、上限額の見直しを検討したいと考えている。

また町内各地で、大規模区画化などの圃場整備を実施したい意向があることから、関係機関と連携しながら、早期に進めたいと考えている。



水道事業の持続可能な運営について
議員 水道事業は町民生活に欠かすことのできない重要なインフラである。
 水道料金を抑制していくためには、業務の効率化や負担軽減を図りながら、安定した事業運営を行っていくことが重要と考える。今後の方向性を伺う。

町長 将来にわたり安定的に事業経営を継続していく必要があるという強い意志をもって事業経営にあたっている。

現在、経営基盤強化や業務の効率化を進めるため、広域化などについて検討を行っているとともに、現在の物価や人件費の高騰に対応するためには、水道料金の見直しが必要になると考えている。

住民の皆様にご理解をいただきながら、傾斜的負担配分なども視野に慎重に進めていきたいと考えている。

議会活動

定例・随時

一般質問

予算特別委員会

財政課、まちづくり政策課に問う

総務常任委員会 代表 **おおすが ひらく 大須賀 啓**

令和8年度予算と町民の生活への影響は

議員 令和8年度の予算は令和7年度の5%削減が目標であり、今後数年間は「我慢の時期」が続くことが予想される。法人町民税の落ち込みが見込まれるほか、扶助費の増加、各種公共施設の長寿命化改修事業などにより、歳出面での負担が増大している。町の事業の見送りや縮小などで町民生活に影響が出ると考え

町長 令和8年度の予算編成は、現在各課に対して「一般財源の5%削減」の目標などを指示した。

町民生活に影響を与えることとならぬよう、町民の皆様の日常生活に直結する事業については維持・継続できるように配慮した。大規模修繕は難しい状況であるが、機能的な修繕・改修補助について引き続き実施する。

令和8年度 大和町 一般会計予算 139億4000万円	歳入	自主財源 (61.0%) 町税 65億9,410万円など	依存財源 (39.0%) 国庫支出金 など
	歳出	義務的経費 (42.1%) 人件費 扶助費 公債費	投資的経費 (6.4%) その他経費 (51.5%)

地域おこし協力隊のより良い活用を

議員 令和7年に地域おこし協力隊の第1号が就任した。地域おこし協力隊の制度は、単なる人手不足の解消ではなく、町の活性化や将来の定住を見据えた投資である。隊員の一年間の活動成果をどう分析しているか。また、今後の協力隊の活用については。

町長 現在の隊員は、元プロ野球選手ということで話題性があり、大和町の発信に繋がったものと考えている。今後については、独立支援を行いつつ、農業から関係人口創出ができるような役割を期待している。

令和8年度についても、引き続きフリーミッシン型で地域農業の振興、地場産品の開発、観光スポットのPR、SNSでの情報発信などのための募集を行っていく。



マイクロバス貸出事業の環境整備を

議員 令和7年度から開始されたマイクロバス貸出しは、地域活動の活性化を支援する大変意義深い事業である。しかし、利用状況や町民の声を聞き、改善を重ねることが重要である。また、小規模校や交通弱者の多い行政区も活用できる必要があると考えるが。

町長 町のマイクロバス貸出事業については、町内会などの活動の活性化や移動支援を目的として、令和7年5月から開始し、令和7年度実績としては計24回を数えるなど、大変好評をいただいている。

小規模校の校外学習や、交通弱者の多い行政区における活動に当該マイクロバス貸出事業を活用する取組については、行政サービスをより向上させる良案であると感じている。地域の活性化の一助となるよう、事業を推進していく。

一目でわかる審議結果

議案番号等	議案	賛成	反対	議決結果	本 田 昭 彦	佐 野 瑠 津	宮 澤 光 安	平 渡 亮	櫻 井 勝	森 秀 樹	佐 々 木 久 夫	犬 飼 克 子	馬 場 良 勝	今 野 信 一	渡 辺 良 雄	槻 田 雅 之	堀 籠 日 出 子	大 須 賀 啓	児 玉 金 兵 衛	今 野 善 行	提 案 者	
1月随時会議(1月29日)																						
報 告 第 1 号	専決処分の報告について(令和7年度大和町一般会計補正予算)	-	-	報 告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	町 長
議 案 第 1 号	令和7年度大和町下水道事業会計補正予算	14	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
3月定例会議(3月2日~17日)																						
報 告 第 2 号	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	-	-	報 告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議 案 第 2 号	大和町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 3 号	大和町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 4 号	督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 5 号	大和町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 6 号	大和町四十八滝運動公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 7 号	大和町道路占用料等条例の一部を改正する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 8 号	大和町都市公園条例の一部を改正する条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 9 号	令和7年度大和町一般会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 10 号	令和7年度大和町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 11 号	令和7年度大和町介護保険事業勘定特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 12 号	令和7年度大和町宮床財産区特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 13 号	令和7年度大和町吉田財産区特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 14 号	令和7年度大和町落合財産区特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 15 号	令和7年度大和町奨学事業特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 16 号	令和7年度大和町後期高齢者医療特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 17 号	令和7年度大和町吉岡西部土地区画整理事業特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 18 号	令和7年度大和町下水道事業会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 19 号	令和7年度大和町水道事業会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 20 号	令和4~9年度大和町吉岡西部土地区画整理事業造成工事請負契約の変更について	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 21 号	令和8年度大和町一般会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 22 号	令和8年度大和町国民健康保険事業勘定特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 23 号	令和8年度大和町介護保険事業勘定特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 24 号	令和8年度大和町宮床財産区特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 25 号	令和8年度大和町吉田財産区特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 26 号	令和8年度大和町落合財産区特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 27 号	令和8年度大和町奨学事業特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 28 号	令和8年度大和町後期高齢者医療特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 29 号	令和8年度大和町吉岡西部土地区画整理事業特別会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 30 号	令和8年度大和町下水道事業会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 31 号	令和8年度大和町水道事業会計予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
委 員 会 第 1 号	議案第21号 令和8年度大和町一般会計予算に対する附帯決議について	14	1	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	委 員 長
議 案 第 32 号	大和町第五次総合計画基本構想及び基本計画の変更について	14	1	原 案 可 決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
報 告 第 3 号	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	-	-	報 告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	町 長
報 告 第 4 号	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	-	-	報 告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	町 長
3月随時会議(3月26日)																						
議 案 第 33 号	大和町吉岡西部土地区画整理事業基金条例	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 34 号	令和7年度大和町一般会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議 案 第 35 号	令和7年度大和町吉岡西部土地区画整理事業特別会計補正予算	15	0	原 案 可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

○…賛成 ●…反対 「欠」…欠席 ※議長(今野善行)は、賛否が同数でないかぎり採決に加わりません。

議会活動

定例・随時

一般質問

予算特別委員会

~TAIWA VOICE~



議会報告会で聞いた皆さんの声

Q.議会報告会に参加して、今後に活用していきたいことはありますか？



黒川高等学校 ^{たかの さら} 高野 紗羅さん

このような直接意見を言える場がありませんので、新しいことにも挑戦して、良い町を作って行けたらいいなと思いました。



宮城大学 ^{おの たかつぶ} 大野 貴胤さん

地域課題を身近に感じ、議会の役割や政策決定の過程を学ぶ貴重な機会となり、主体的に関わる意欲が高まりました。



黒川高等学校 ^{おさだ こうた} 長田 孝太さん

大和町を盛り上げられたらいいなと思い参加しました。交通の面など色々と考えながら、何か出来たらいいなと思っています。

議会を傍聴してみませんか？

受け付けは役場3階議会事務局にて行います。ぜひお越しください。また、議会インターネット中継も行っております。

QRコードから配信をご覧ください。



次回定例会議は

期間	6月1日(月)から 6月5日(金)まで
	6月1日(月)から 6月4日(木)まで
一般質問	

の予定です。

大和町議会事務局
TEL:022-345-7506
メール:gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報常任委員会

編集発行責任者

議長 今野 善行

編集委員

委員長 犬飼 克子

副委員長 児玉金兵衛

委員 本田 昭彦

委員 佐野 瑠津

委員 平渡 亮

委員 森 秀樹



小野小学校入学式にて

元気に入学 新一年生

4月上旬、町内6校の小学校で入学式が開催されました。令和8年度の新生入生は6校合計で207人。ピカピカのランドセルに大きな期待を詰め込んで、小学校生活の第一歩を踏み出しました。

編集後記

さわやかな風が心地良い季節となりました。

3月定例会議では、新年度予算をはじめ、暮らしに関わるさまざまな議案について議論を重ねました。

また、議会報告会には地元の大学生や高校生にご参加いただき、若い世代の率直なご意見に触れる貴重な機会になりました。普段とは違う視点に気づかされ、あらためて交流の大切さを感じています。

これからも町民の皆さまの声に耳を傾け、身近で親しみやすい開かれた議会を目指してまいります。本広報誌が議会を身近に感じていただく一助になればと思っています。

編集委員 本田 昭彦

※議会だよりに掲載している写真は、本人、保護者等の許可を得て撮影・掲載しております。



この印刷物にはVOC(揮発性有機化合物)成分ゼロの環境にやさしい100%植物油型インキを使用しました。

